

平成22年度 定期作況報告

7月20日現在
北海道立根釧農業試験場

I. 気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象概況は次のとおりである。

6月下旬：最高および最低気温は23.4および12.7℃で、それぞれ平年より4.2および2.7℃高かったため、平均気温は18.1℃で平年より3.5℃高かった。降水量は35mmで平年並であった。日照時間は57.4時間で平年より16.0時間多かった。

7月上旬：最高および最低気温は20.7および14.6℃で、それぞれ平年より1.8および3.9℃高かったため、平均気温は17.7℃で平年より2.9℃高かった。降水量は113mmで平年より79mm多かった。日照時間は20.2時間で平年より11.5時間少なかった。

7月中旬：最高および最低気温は24.5および13.7℃で、それぞれ平年より4.0および1.1℃高かったため、平均気温は19.1℃で平年より2.5℃高かった。降水量は54mmで平年並であった。日照時間は57.4時間で平年より32.2時間多かった。

この1ヶ月間は、総じて気温は極めて高く、降水量は多く、日照時間はやや多く推移した。

気象表

項目	6 月 下 旬			7 月 上 旬			7 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	18.1	14.6	3.5	17.7	14.8	2.9	19.1	16.6	2.5	18.3	15.3	3.0
最高気温(℃)	23.4	19.2	4.2	20.7	18.9	1.8	24.5	20.5	4.0	22.9	19.5	3.3
最低気温(℃)	12.7	10.0	2.7	14.6	10.7	3.9	13.7	12.6	1.1	13.7	11.1	2.6
降水量(mm)	35.0	38.0	△ 3.0	113.0	34.0	79.0	54.0	51.0	3.0	202.0	123.0	79.0
降水日数(日)	5	4.9	0.1	5	4.7	0.3	3	5.5	△ 2.5	13	15.1	△ 2.1
日照時間(時間)	57.4	41.4	16.0	20.2	31.7	△ 11.5	57.4	25.2	32.2	135.0	98.3	36.7

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) △は負の値を示す

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況： 良

事 由

前回報告時(6月20日現在)以降、気温は高く推移したため、平年（参考値）に比べとうもろこしの草丈は高く、葉数は多い。

このことから、目下の作況は良と判断される。

品 種 名	草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちぴりか	122	—	—	11.2	—	—
(ぱぴりか	—	87	—	—	10.3	—)

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 「たちぴりか」の草丈および出葉数には過去のデータが無いため、参考として下段に、以前供試していた「ぱぴりか」の平年値（平成16年～21年（6カ年）のうち最凶年であった平成21年を除く5か年の平均値）を掲載した。

2. 牧草

(1) 採草型 (チモシー単播)

作況：1番草 並
2番草 良

事由

1番草：出穂期は6月23～24日で平年より1～2日早かった。草丈は2年目草地では109cmで平年並、3年目草地では104cmで平年よりやや低かった。乾物収量は2年目草地843kg（平年比132%）と多収であったが、3年目草地は397kg/10a（平年比60%）で低収であった。冬枯れ被害の少なかった2年目草地では気温が高く推移し、適度な降水があったため多収になったが、3年目草地では冬枯れ被害の影響により低収であったと考えられた。
以上のことから本年1番草の作況は並である。

草 地	1番草 出穂期(月.日)			1番草刈取日(月.日)			1番草刈取時草丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	6.24	6.25	△ 1	6.24	6.25	△ 1	109	110	△ 1
3年目	6.23	6.25	△ 2	6.24	6.25	△ 1	104	110	△ 6

1 番 草						
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較(平年比指数)
2年目	4800	3134	1666	843	638	205 (132)
3年目	2159	3101	△ 942	397	663	△ 266 (60)

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：TY単播の2年目草地は平成15～21年のうち、最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。
TY単播の3年目草地は平成16～21年の6ヵ年平均値。

3) △は減を示す。

2番草：7月20日現在のチモシーの草丈は46～53cmで平年より11～18cm高い。従って現時点での2番草の作況は良と判断される。

	2番草 7月20日草丈(cm)					
	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
チモシー単播	53	33	18	46	35	11

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：TY単播の2年目草地は平成15～21年のうち、最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。
TY単播の3年目草地は平成16～21年の6ヵ年平均値。

3) △は減を示す。

(2)放牧型（オーチャードグラス単播）

作況：2番草 良

作況：3番草 良

事 由

2番草：1番草の刈取り以降、気温が高く推移したことから、平年と比較して草丈が28～31cm高く、乾物収量は240～265kg/10aで平年比122～130%と2年目、3年目草地とも多収となった。以上のことから放牧型2番草の作況は良である。

3番草：2番草刈取り後、気温は高めに推移しているため、7月20日現在の草丈は平年より9～21cm高く、現時点での作況は良と判断される。

草 地 草種	2 番 草						3 番 草		
	刈取り月日			草 丈 (cm)			7月20日草丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目 OG単播	7. 1	7. 1	0	94	63	31	68	47	21
3年目 OG単播	7. 1	7. 1	0	91	63	28	57	48	9

草 地	2 番 草						
	生草収量 (kg/10a)			乾物収量 (kg/10a)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(平年比指数)
2年目 OG単播	1846	990	856	265	205	50	(130)
3年目 OG単播	1452	999	453	240	196	44	(122)

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：OG単播の2年目草地は平成15～21年のうち、最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値。
OG単播の3年目草地は平成16～21年の6ヵ年平均値。

3) △は減を示す。